

【様式】

令和7年度 学校マネジメントシート

学校名(津西高等学校)

1 目指す姿

(1)目指す学校の姿	○ 高い知性と豊かな感性を備え、高い志と広い視野を持って、夢の実現に向け行動する、たくましい生徒の育成を目指す学校 ○ 豊かな人間性と社会性を持ち、社会の進展に主体的に対応して、国際社会、地域社会に貢献する生徒の育成を目指す学校
(2) 育みたい資質・能力(育みたい生徒の姿) 【グラデュエーション・ポリシー】	○ 確かな学力と実践力 ○ 物事の本質を明らかにしようとする探究心 ○ 高い自己肯定感と健全な心身
ありたい教職員の姿	社会の変化に応じて価値観や考え方を更新し学び続ける教職員

2 現状認識

(1)学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	(生徒) ○ 自ら学び続ける力、進路実現に向けた支援 (保護者) ○ 自ら学び続ける力、進路実現に向けた支援、人格の陶冶 (地域) ○ 地域を担う人材の輩出	
(2)連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待 (中学校) ○ 高校生活の発信 (進学先) ○ 確かな学力と探究心の育成 (地域) ○ 地域に対する理解を深める	連携する相手への要望・期待 (中学校) ○ 基礎学力の育成 (進学先) ○ 生徒の積極的な受け入れ (地域) ○ 学校教育(探究活動)への参画
(3)前年度の学校関係者評価など	○遠隔授業の取組により、学習保障はできるが、長期に渡る不登校の場合、状況の改善に繋がる取組にしていく必要がある。 ○子どもたちには、探究活動等、人との関わりを持つ活動を通じて、コミュニケーション力を身に付けるだけでなく、ファシリテイト力や自己有用感を身に付けてほしい。 ○海外語学研修を含め、あらゆる学びで、その努力や向上を認めてあげられるような仕組みをお願いしたい。わかりやすい授業も大事だが、わからないことに主体的に取り組む姿勢や力、価値観を育ててほしい。	

(4)現状と課題	教育活動	生徒の授業アンケート結果では、本校教員の授業に対する満足度は高く、生徒は授業を通じて基礎力の習得に向け真面目に取り組んでいる。一方で、自らの学力や学習習慣の傾向を明らかにして、それに従って計画的に個々の学習を進める自律的な学習が十分でない。また、習得した知識やスキルの組み合わせや掛け合わせを通じて自分なりの答えを導き出すことを苦手とする傾向があり、教科や課題研究における探究学習を軸に思考力・判断力を育成する必要がある。
	学校運営等	各分掌の主任を中心に的確な情報共有が行われているなか、事象ごとに応じた各部の連携、体制づくりが進んでいる。また、探究学習を中心に卒業生や地域の人材を活用した取組が増え、外部との連携も増えている。県民に向けては、SNSによる諸活動の発信やHPの充実、オープンスクール等の開催に取り組んでいるなか、情報収集を積極的に行い、より社会の変化を的確にとらえた情報発信（コンテンツと方法）が求められている。教職員間の支援が多い職場風土に支えられているものの、業務量の多さと多忙感を訴える教員は多い。

3 中長期的な重点目標

教育活動 【カリキュラム・ポリシー】	・高等教育機関での学びに資する確かな学力の育成を目的として、大学等の情報収集に一層留意し、3年間を見通した学習活動を通じた学力向上を図る。 ・確かな学力の育成に向けては、手厚い学習支援を通じて安心して学べる環境を整えとともに、自律的な学習態度の涵養に努める。また、基本的な知識、スキルの習得と思考力・判断力・表現力のバランスに留意し、特に知識やスキルの活用力の育成に注力する。 ・主体性の育成を目的として教科における探究学習や課題研究（「西考」）を軸に試行錯誤を繰り返して学びを進める力を育成するとともに、学校行事及び部活動をはじめとする課外活動を通じた人格の陶冶を目指す。
学校運営等	・教職員間の情報共有を徹底し、チームとして課題解決を図る職場づくりを一層進める。 ・「西高サポートクルー」をはじめとする様々なステークホルダーとの関係を広げるなかで、地域に密着した教育活動を進めるとともに、積極的な情報収集を通じて、地域社会のニーズに応じた学校の魅力化に努める。 ・働き方改革に向け、業務縮減及び業務量の平準化を進めるとともに、学年を中心にこれまでより業務が増えつつある部署の支援に向けた体制づくりを進める。教職員が健康で意欲的に働くことができるよう、職場環境の整備、業務縮減を進めるとともに、休暇が取得しやすい環境整備に取り組む。 ・教職員としての使命と職責の重さを認識するとともに、コンプライアンス意識の向上に向け取り組む。

4 求める生徒像

入学時に期待される 生徒の姿 【アドミッション・ポリシー】	・自ら学ぼうとする生徒 ・好きなことに徹底して打ち込むことができる生徒 ・あいさつをはじめとする基本的なコミュニケーションができる生徒
-------------------------------------	---

5 本年度の行動計画と評価

(1)教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など

また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
学習活動	1 実践的学習活動 【活動指標】 ① 探究活動 1年生…(前半)身近な問題・社会問題探究 10h) (後半)人権学習(様々な人権課題 10h) 2年生…課題研究(地域創生、キャリア、学際 25h) ② 津西SPP(サイエンス・パートナーシップ・プログラム) 三重大大学との連携講座への参加(長期休業中3回) ③ 津西GCP(グローバル・チャレンジ・プログラム) 国内の語学研修への参加(夏季休業中1回) 【成果指標】 参加生徒の満足度80%以上		◎
キャリア教育	1 高い志と高い進路志望の実現に向けた取組 【活動指標】 ① 個人面談 3回/年(全学年) ② 外部講師による講演会 3回/年(全学年) ③ 大学・学問研究 3回/年(1, 2年生) ④ 課外授業 4-5日/週(3年生) 5日/年(2年生) 5日/年(1年生) ⑤ 夏季課外授業 15日/年(全学年) ⑥ 特別セミナー 2回/年 (国際科学科1, 2年生) ⑦ 基本・基礎的な知識・能力を評価する実力テストの実施 3回/年(1, 2年生)		◎

改善課題
(年度末に記載)

(2)学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など

また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
組織運営	1 授業力向上 【活動指標】 ① 互見授業の実施 1回／年 ② 生徒に対する授業アンケート 3回／年 ③ 保護者に対する授業アンケート 2回／年 ④ 大学入試問題研究 1回／年 ⑤ ICTの活用及び協働学習による授業を全教員が実践 【成果指標】 - 学力の向上を実感した生徒 80% (授業アンケート) - 生徒の授業満足度 80% (授業アンケート) 2 生徒の進路実現に向けた戦略的会議 【活動指標】 ① 進路研修会 5回／年 ② 国際科学科にかかる運営委員会、学力検討委員会 3回／年 ③ 主任会議 10回／年 ④ 非認知能力測定にかかる研修会 1年 2回／年 2年 2回／年		
保護者・地域との連携	1 中学校との連携 【活動指標】 ① 地域の中学校への出前授業 10校以上 ② 出身中学校との情報共有 中学校訪問2回／年 2 探究活動等における地域人材活用 【活動指標】 ① 地域人材による出前授業 30講座／年		◎

	② 地域での体験活動 10回／年 3 異校種連携 【活動指標】 生徒による地域小学校での授業実践 3回／年 4 PTAとの連携事業 【活動指標】 進路研修会 5回／年 【成果指標】 本校の教育活動について満足している保護者 80% (保護者満足度アンケート)		
働き方改革	1 教職員の総勤務時間の縮減 【活動指標】 ① 定時退校日の設定 1回／月 ② 部活動休養日の設定 1回／週 ③ 会議の時間短縮 60分以内90% ④ オンラインを活用した研修等の設定 3回／年 【成果指標】 ・ 時間外勤務時間が月45h超の教職員 0人 ・ 時間外勤務時間が年360h超の教職員 0人 ・ 一人当たりの月平均時間外勤務時間 30h以下 ・ 一人当たりの年次休暇・夏季休暇取得日数 15日以上		◎
コンプライアンスの遵守	1 教職員一人ひとりのコンプライアンス意識向上 【活動指標】 ② 「学校信頼向上委員会」の実施 3回／年 ② 研修会の実施 3回／年		◎
改善課題			
(年度末に記載)			

6 学校関係者評価

明らかになった改善課題と次への取組方向	(年度末に記載)
---------------------	----------

7 次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	(年度末に記載)
--------------	----------

学校運営について の改善策	(年度末に記載)
------------------	----------